

2023年9月海洋観測結果について

8月24日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	16m	133.41	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

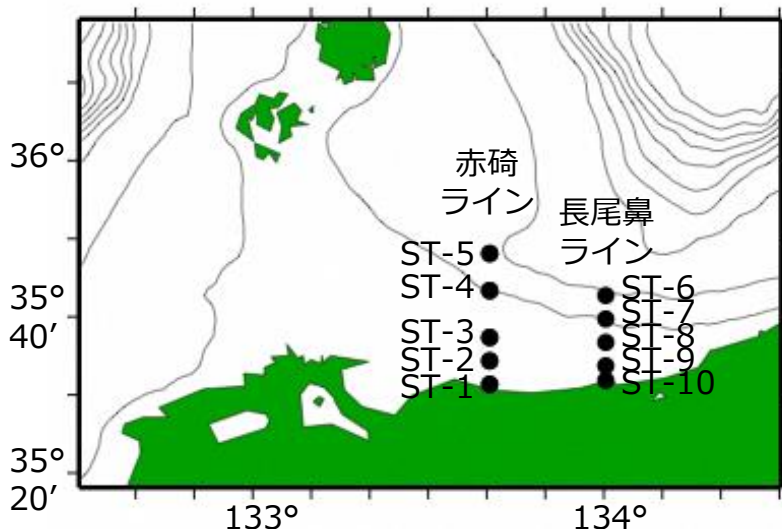


図1 観測定点

【鉛直分布図】

赤碕ライン、長尾鼻ラインともに表面水温は28℃以上に達し先月よりも昇温していました。

水深40～60mに水温躍層が発達し、それより下層では水温22℃以下になっていました。水深150m付近にも水温躍層が存在し、水温は10℃以下に低下していました。

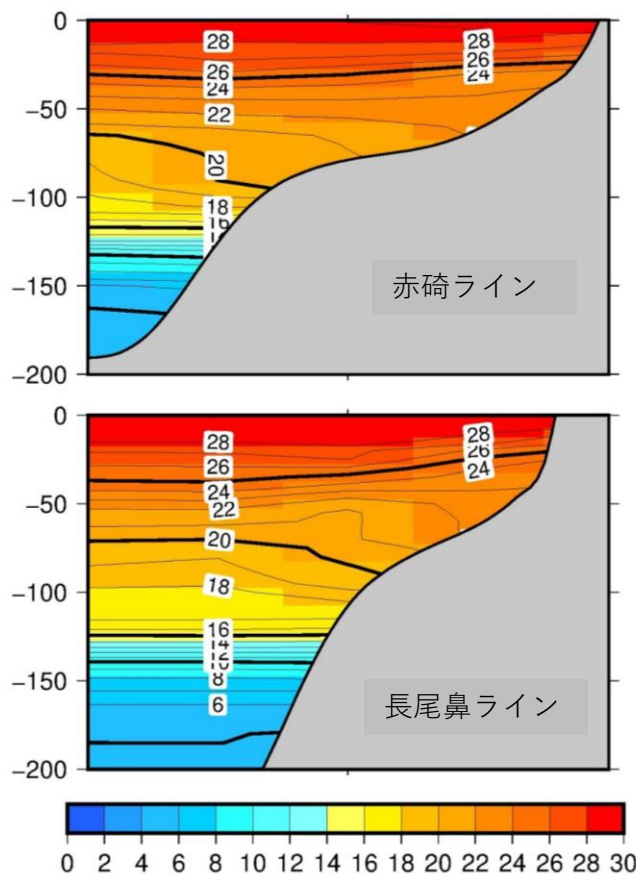


図2 鉛直分布図 (海水温の単位:℃)

【水深帯別の比較】

2023年9月観測時点では、赤碕ラインは水深0 mから90mまでは平年より水温が0.3～1.6℃高くなっていました。

長尾鼻ラインでは、水深0 mから90mまでは平年より水温が0.4～1.7℃高くなっていました。

このように平年と比べると両ラインともに水温は高くなっていますが、前年同期よりは低めで推移しています。

表2 各ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
	水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m
2023年	28.7	25.2	22.3	19.5	28.9	24.9	22.0	19.2
前年	28.2	27.7	25.7	20.3	28.5	27.1	23.8	17.8
2010-22年平均	27.2	24.7	22.0	17.9	27.2	24.2	21.5	17.7
平年差	1.6	0.5	0.3	1.6	1.7	0.7	0.4	1.6